

～11 月 22 日はいい夫婦の日～

保育園・幼稚園～小学校低学年のこどもを持つお父さん、お母さん 600 人に聞く 「こどもの教育に関する夫婦の意識調査」

- ◆こどもの教育費 月々の平均額は「31,769 円」
- ◆家計に占める割合は「10%未満」が 6 割以上
- ◆「家計を切り詰め」教育費を捻出する母親が 50.3%
- ◆こどもに習わせたいお稽古ごと 父親・母親ともに第 1 位は水泳
- ◆教育熱心な芸能人 父親 No.1「つるの剛士」 母親 No.1「松嶋菜々子」

損保ジャパン・ディー・アイ・ワイ生命保険株式会社(社長:山本 学)は、「こどもの教育に関する夫婦の意識」をテーマとした調査を実施いたしました。

11 月は私立小学校の入学試験がピークを迎える月であることから、小さなこどものいるご家庭では、こどもの将来や教育について考えを巡らせる機会が増えるのではないのでしょうか。

そこで当社では、11 月 22 日の「いい夫婦の日」を前に、こどもの教育に関する父母それぞれの意識を探るべく、保育園・幼稚園～小学年低学年のこどもが第1子である首都圏在住の父母 600 名を対象に調査を実施。教育費やこどもの将来に関する様々な回答が得られました。

《「こどもの教育に関する夫婦の意識調査」結果概要》

- ① こどもの教育費の月々平均額は、父親「35,403 円」、母親「28,134 円」。
こどもの教育に対する費用感は、父親が母親よりも高い傾向。
- ② こどもの教育費が月々の家計に占める割合「10%未満」と答える親が 6 割以上。
「家計を切り詰め」教育費を捻出する母親(50.3%)が父親を上回る。
- ③ こどもが小学校に入学するにあたり必要だと予想する平均金額*1 は、父親「188,548 円」、母親「162,060 円」。実際にかかった費用平均金額*2 は「121,515 円」。
- ④ 親が望むこどもの進学先は、保育園・幼稚園:「私立」→小学校・中学校・高校:「公立」→大学:「国立」。
- ⑤ こどもに習わせたい/習わしているお稽古ごとは父親・母親ともに「英会話」をおさえて「水泳」がトップ。
母親には「書道、習字」、父親には「サッカー」も人気。
- ⑥ こどもの教育方針「夫婦で話し合う」が全体の 53.7%。
こどもが 3 人以上いる家庭では「母親主導」が 54.1%でトップ。「父親主導」は少数派。
- ⑦ 教育熱心だと思う芸能人 父親が選ぶ第 1 位に「つるの剛士」。母親が選ぶ第 1 位に「松嶋菜々子」。
- ⑧ 将来なってもらいたい職業 父親・母親共に「子供がなりたいと思うもの」がトップ。第2位が「会社員」。

*1 保育園・幼稚園のこどもを持つ父母が対象。*2 小学校低学年のこどもを持つ父母が対象。

※本調査における「教育費」とは、保育園・幼稚園内や学校内でかかる費用、もしくは塾、習い事、家庭教師、通信教材などをさしています。

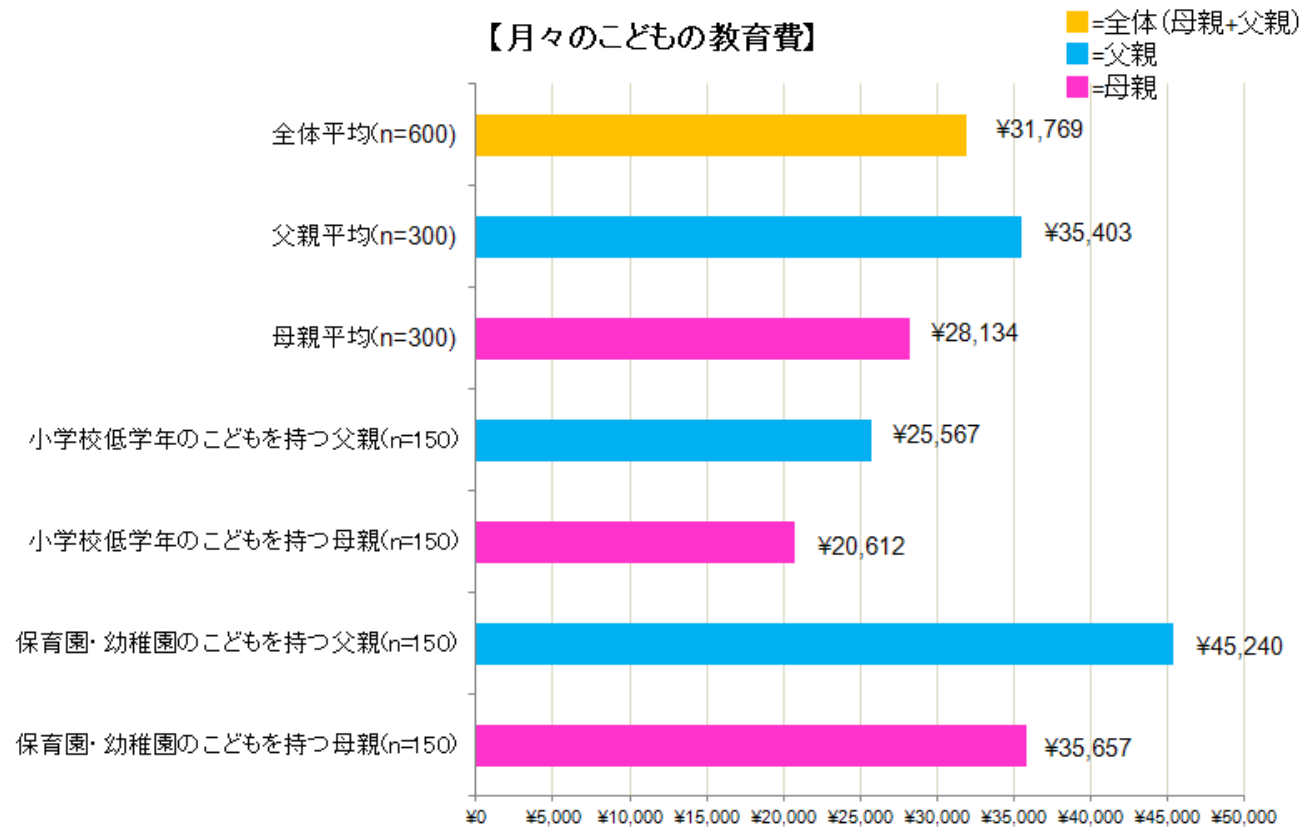
【本件に関するお問い合わせ先】

損保ジャパン・ディー・アイ・ワイ生命保険株式会社
広報グループ : 植松、高月 TEL:03-5437-9026

◆月々のこどもの教育費

月々のこどもの教育費の平均額は父親「35,403 円」に対し母親は「28,134 円」。全体平均は「31,769 円」。

『月々のこどもの教育費』を聞いたところ、母親の回答(28,134 円)を父親の回答(35,403 円)が大きく上回りました。こどもの教育費に対して、父親のほうが母親よりも多くの額を捻出しているという意識があるようです。

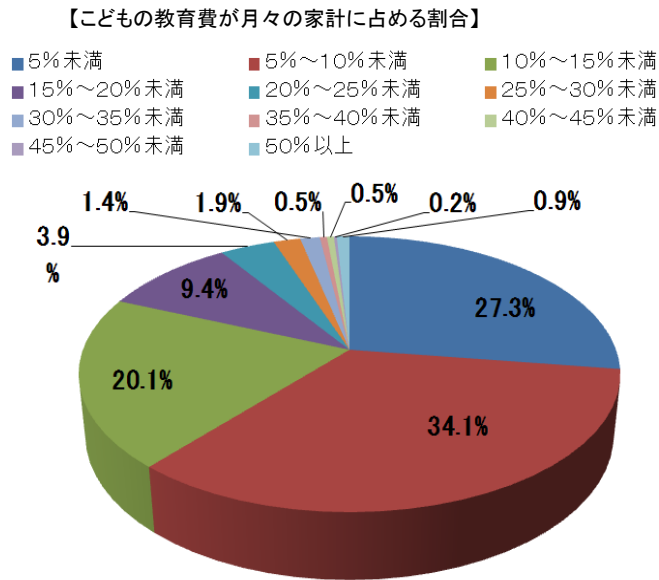


◆こどもの教育費が月々の家計に占める割合

こどもの教育費が月々の家計に占める割合は「5～10%未満」という回答(34.1%)が最も多い。教育費捻出のために、母親の半数以上が「家計を切り詰める(50.3%)」と回答。

『月々のこどもの教育費が家計に占める割合』を聞いたところ、「5～10%未満」と答えた親(34.1%)が最多で、「5%未満」を合わせた「10%未満」と答えた親が全体の 6 割以上を占める結果となりました。

また、『こどもの教育費捻出のためにしていること』に関しては、「特に実行していることがない」と答えた父親(43.7%)が母親(36.7%)を 7 ポイント上回りました。母親は半数以上(50.3%)が「家計を切り詰める」と回答するなど、教育費捻出のために家計をコントロールする姿勢が、より強くみられました。



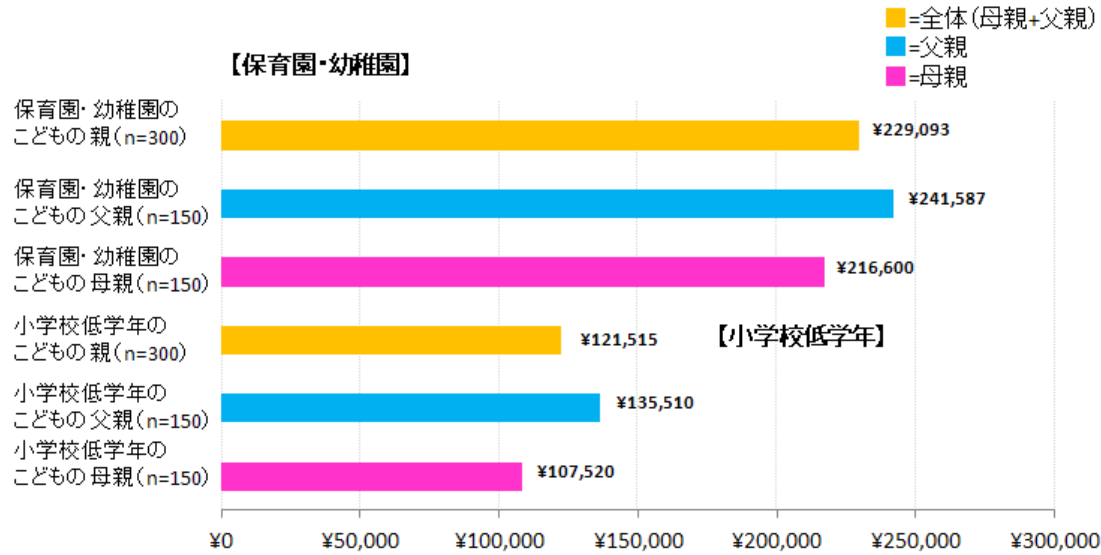
【こどもの教育費捻出のためにしていること】 (%)		
	母親 (n=300)	父親 (n=300)
家計を切り詰める	50.3	47.3
特に実行していることがない	36.7	43.7
主婦・主夫側が働くなど収入を増やす努力をする	23.0	21.7
親から援助してもらう	3.7	3.7

◆小学校入学時にかかる費用

こどもの小学校入学時にかかると予想する費用の平均額は、父親「241,587 円」が母親「216,600 円」を約 25,000 円上回った。

保育園・幼稚園のこどもを持つ親に、『小学校入学時にかかると予想される費用』を聞いたところ、全体平均は 229,093 円となり、その中でも父親の平均額が母親よりも 24,987 円上回りました。一方、小学校低学年のこどもの親に実際にかかった費用を聞いたところ、全体平均 121,515 円となり、保育園・幼稚園のこどもを持つ親の予想額と 10 万円以上の差が出る結果となりました。ここでも、父親のほうが母親よりも多くの費用が必要という意識があるようです。

【小学校入学時にかかる費用の予想額と実際の額】



◆親が望むこどもの進学先

親が望むこどもの進学先は、保育園・幼稚園:「私立」→小学校・中学校・高校:「公立」→大学:「国立」。

親が望むこどもの進学先は、保育園・幼稚園は「私立」が半数以上ですが、小学校・中学校・高校は「公立」、大学は「国立」が圧倒的多数を占めています。参考までに、文部科学省の「平成 25 年度学校基本調査」を見ると、実際は私立大学の生徒在籍数が全体の約 7 割を占めています。

【親がこどもに望む進学先】 (%)

	n=	私立	公立	国立	海外	その他
幼稚園・保育園	600	57.3	42.0	0.7	0.0	0.0
小学校	600	4.5	92.2	3.2	0.2	0.0
中学校	600	15.0	80.3	4.3	0.2	0.2
高校	600	18.3	74.5	6.0	0.7	0.5
大学	600	17.3	29.5	47.2	4.0	2.0

【親がこどもに望む大学進学先】 (%)

	大学
国立	47.2
公立	29.5
私立	17.3

【実際の生徒在籍数※】 (%)

	大学
国立	21.4
公立	5.0
私立	73.4

※参考 平成 25 年度学校基本調査(文部科学省)

◆子どもに習わせたい/習わせているお稽古ごと

母親・父親ともに、子どもに習わせたい/習わせているお稽古ごとは「水泳」がトップ(母親 63.3%、父親 46.7%)。水泳を選ぶ理由で最も多く挙げられたのは「身体を鍛えるため・健康のため」(74.2%)。

『子どもに習わせている(習わせたいと思う)お稽古ごと』を複数回答で聞いたところ、母親・父親ともに「水泳」が第1位という結果になりました。理由は「身体を鍛えるため・健康のため(全体平均 74.2%)」が半数以上を占め、子どもの身体を気遣う親心が伺えます。

また、父親の回答上位にはスポーツが2種目を占め、比較的母親よりも父親のほうが、スポーツを習わせたいと願う傾向にあるようです。なお、少数ではありますが、オリンピック種目のフェンシングやレスリングも挙げられていました。

【子どもに習わせたい/習わせているお稽古ごと】

【父親】		(%)
1	水泳	46.7
2	英会話、英語教室など語学系	40.3
3	ピアノ、バイオリンなどの音楽系	28.7
4	そろばん、学習塾など学習系	25.7
5	サッカー	18.3
6	書道、習字	17.3
7	あてはまるものがない	12
8	体操	11
9	野球	10.7
10	バレエ、ダンス	10.3

【母親】		(%)
1	水泳	63.3
2	英会話、英語教室など語学系	48.7
3	そろばん、学習塾など学習系	44.7
4	ピアノ・バイオリンなどの音楽系	40.0
5	書道、習字	35.7
6	体操	24.7
7	バレエ、ダンス	18.7
8	サッカー	10.7
9	絵画・創作	5.3
10	野球	4.7

【お稽古ごとを習わせたい/習わせている理由(全体合計)】

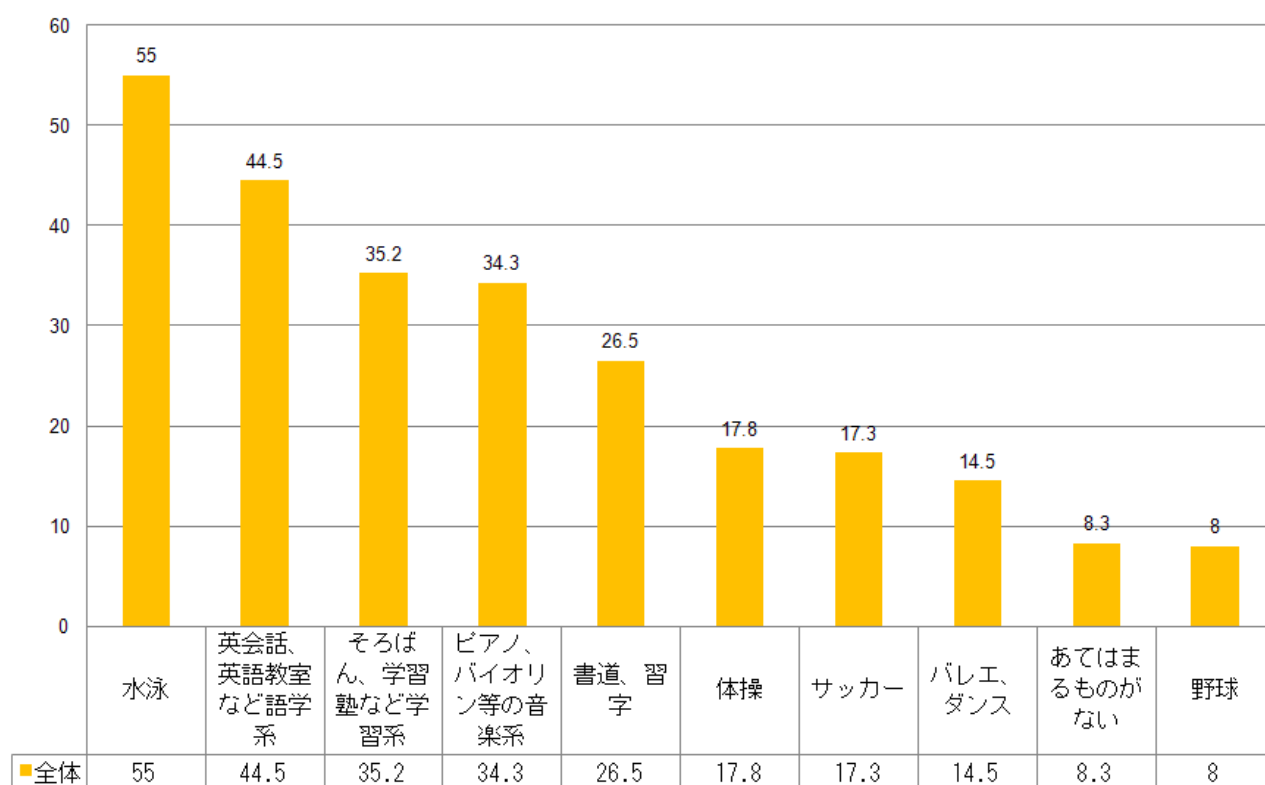
(%)

		子どもが好きだから	自分がやらせたいから どちらかという	しつけ・規律を身につけるため	身体を鍛えるため・健康のため	技術者・専門家として 育てたいため	何か1つでも特いなものを 身につけてほしいから	兄弟・周りの子どもが やっているから	将来役立つと思うから	その他
1	水泳	27.0	15.5	2.4	74.2	0.6	11.8	2.1	17.6	2.1
2	英会話、英語教室など語学系	16.1	25.1	1.1	0.0	0.4	9.4	0.0	81.3	0.7
3	そろばん、学習塾など学習系	7.6	28.9	7.1	0.0	0.9	10.4	0.0	69.7	2.4
4	ピアノ、バイオリンなどの音楽系	36.4	26.7	6.3	0.0	0.5	30.6	1.0	28.6	4.9
5	書道、習字	8.8	30.8	26.4	0.0	1.3	11.3	0.6	63.5	3.1
6	体操	30.8	9.3	6.5	68.2	3.7	10.3	0.9	8.4	0.9
7	サッカー	42.3	15.4	16.3	57.7	1.9	18.3	3.8	5.8	1.9
8	バレエ、ダンス	46.0	23.0	10.3	39.1	1.1	17.2	1.1	12.6	3.4
9	野球	20.8	31.3	35.4	52.1	6.3	12.5	0.0	8.3	6.3
10	絵画・創作	63.0	21.7	0.0	0.0	0.0	19.6	0.0	19.6	6.5

※順位は全体(母親+父親)のランキング。

【こどもに習わせたい/習わせているお稽古ごとランキング(全体合計)】

(%)

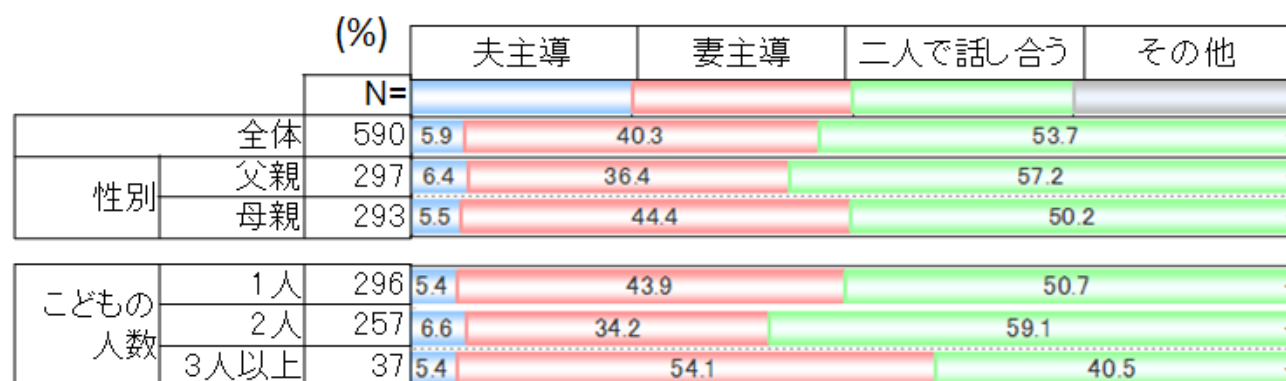


◆こどもの教育方針

こどもの教育方針については、父親(57.2%)・母親(50.2%)ともに半数以上が「夫婦で話し合う」と回答。次いで「母親主導」。「父親主導」は10%未満。

『こどもの教育方針』については父親・母親ともに「夫婦で話し合う」という回答が半数以上となりました。また、こどもの人数が3人以上の家庭では、母親主導の教育方針をとる家庭が54.1%を占め、「夫婦で話し合う」を上回る結果となりました。全体的に、父親主導の教育方針をとる家庭は少数派のようです。

【こどもの教育方針の決め方】



◆教育熱心だと思ふ芸能人

教育熱心だと思ふ芸能人、父親が選ぶ第1位に「つるの剛士」。母親が選ぶ第1位は「松嶋菜々子」。「尾木ママ(尾木直樹)」、「小倉優子」も上位にランクイン。

『教育熱心だと思ふ芸能人』について聞いたところ、父親が選ぶ第1位に「つるの剛士」、第2位に「尾木ママ(尾木直樹)」が、母親が選ぶ第1位に「松嶋菜々子」、第2位に「小倉優子」が選ばれました。

【教育熱心だと思ふ芸能人 ランキング】

父親		母親	
1	つるの剛士	1	松嶋菜々子
2	尾木ママ(尾木直樹)	2	小倉優子
3	高田万由子	3	高田万由子
4	松嶋菜々子	4	尾木ママ(尾木直樹)
5	工藤静香	5	工藤静香
5	竹内結子	5	北斗晶
5	黒木瞳	5	ジャガー横田夫妻

◆将来なってもらいたい職業

将来なってもらいたい職業、第1位は「子供がなりたいと思うもの」。次いで「会社員」「公務員」が上位に。

『将来なってもらいたい職業』について聞いたところ、「子供がなりたいと思うもの」が第1位となりました。子供には自分のやりたいことをやってもらいたいと思っている親心がうかがえます。次いで、第2位には「会社員」、母親の第3位には「薬剤師」が、父親の第3位には「公務員」が選ばれました。

【将来なってもらいたい職業】

父親		母親	
1	子供がなりたいと思うもの	1	子供がなりたいと思うもの
2	会社員	2	会社員
3	公務員	3	薬剤師
4	医師	4	公務員
5	大学教授・学者・科学者	5	医師
6	薬剤師	6	公認会計士・税理士

＜対象者の属性＞

対象者条件: ①20～69歳の男女 ②第1子が「保育園・幼稚園」、または、「小学生・低学年」の両親

調査期間: 2013年10月18日(金)～2013年10月21日(月)

調査方法: インターネット調査

調査地域: 東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県

サンプル数: 600 サンプル

保育園・幼稚園に通う女兒を持つ父親	75
保育園・幼稚園に通う女兒を持つ母親	75
保育園・幼稚園に通う男児を持つ父親	75
保育園・幼稚園に通う男児を持つ母親	75
小学校低学年(1-2年生)女兒を持つ父親	75
小学校低学年(1-2年生)女兒を持つ母親	75
小学校低学年(1-2年生)男児を持つ父親	75
小学校低学年(1-2年生)男児を持つ母親	75
合計	600